グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	永田 長生	1年次	秋

授業のキーワード	調べる、まとめる、報告する
授業の概要・目的	この授業では、各人が興味を持つテーマを自由に設定してもらい、それについてレポ
及び修得させる知	ートを作成・報告してもらいます。その過程において、資料の集め方、レポートのま
識・技能	とめ方、報告の仕方を身に付けてもらいます。
履修のアドバイス・	学生同士が意見を交換したり議論したりする場です。安易な欠席や私語などは他の学
前提科目等	生の迷惑になりますので慎んでください。また,授業中,一度も発言がない場合,出
別促作日守	席とみなさないことがありますので注意してください。

授業展開

				1	_		
	テーマ	内容		テーマ	内 容		
第	オリエンテー	この授業の概要を説明します。	第	学生による			
1	ション		9	報告			
講			講				
	レポート作成	資料の集め方、レポートのまとめ方、報		学生による			
第	の心構え	告の仕方や、それらにおける注意点など	第	報告			
2		を説明します。 また, パソコンを用いて	10				
講		報告資料を作成する方法について、簡単	講				
		に角電視します。					
第	学生による報	1回の授業につき, 2~3人の学	第	学生による			
3	告	生に報告してもらいます。	11	報告			
講			講				
第	学生による報		第	学生による			
4	告		12	報告			
講			講				
第	学生による報		第	学生による			
5	告		13	報告			
講			講				
第	学生による報		第	学生による			
6	告		14	報告			
講			講				
第	学生による報		第	総括	レポートを提出してもらいま		
7	告		15		す。また、その要約を簡単に発		
講			講		表してもらいます。		
	学生による報				授業態度:30%,報告の仕方:		
8	告		評	価 方 法	40%, レポート: 30%		
講							
	備考						
(則	7月 そ (関連する資格・試験等)						
(民							
100		書(必ず購入してください)	参考文献				
	松野弘『大学生のための知的勉強術』,講談社現代新			その他,授業中に適宜紹介していきます。			
書,	2010年.						